

10月16日(火)

自分の持ち場に行きなさい

聖書朗読 マタイ 28:18~20

しかし、お許しにならないで、彼にこう言われた。「あなたの家、あなたの家族のところに帰り、主があなたに、どんな大きなことをしてくださったか、どんなにあわれんでくださったかを、知らせなさい。」 マルコ 5:19

大宣教命令は、説教の中で、あるいは宣教の話の時によく使われます。「本日は大宣教命令を成就するために外国の地に宣教師を遣わします」のような使われ方をします。大宣教命令とは遠い外国の地に行くことだけに当てはまるのでしょうか。もし大宣教命令が、私たちがそれぞれに置かれた場所でイエス様に従う人を生み出すことだったらどうでしょう。「全世界に出て行く」ことは、自分の置かれた環境の中に行くことです。職場、地域、学校、友達の中に入って行ってキリストの弟子を作ることです。

自分の持ち場で、弟子を作り出す人になることをお勧めします。神様から許された者として生きなさい。そうすればあなたの生き方が、イエス様への道を指し示す証になります。イエス・キリストの名によって奉仕しなさい。そうすれば、周囲の人あなたもあなたが話すことに耳を傾けてくれるようになるでしょう。それから、大胆にイエス様の物語を語りなさい。イエス様が自分にしてくれたことを語りなさい。自分が置かれている場所で、誰でもイエス様を自分の人生に迎え入れることができるのだとお知らせしなさい。

あなたが置かれている場所で知り合う人々も、イエス様を知る必要があります。神様はあなたにイエス様を知らせるようにお願いしているのです。

讃美歌 502

祈り 天の神様。あなたの御子について語ってくれた信者に感謝します。あなたからの呼びかけに応じて、世に出て行ってイエス様に従う人が起こされる働きができますように。私たちに勇気をください。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

スティーブ・リジェル
テキサス州 アビリン

10月17日(水)

道を整える

聖書朗読 マタイ 1:1~13

みこころの奥義を私たちに知らせてくださいました。それは、この方において神があらかじめお立てになったみむねによることであり、時がいつに満ちて、実現します。いっさいのものがキリストにおいて、天にあるもの地にあるものがこの方において、一つに集められるのです。 エペソ 1:9~10

今日の聖句が強調しているのは、神の子の神性を宣言する神様のご計画です。旧約聖書の中の預言者やバプテスマのヨハネや御霊は、イエス様のために道を整えました。『それからイエスは、悪魔の試みを受けるために、御霊に導かれて荒野に上って行かれた。』(マタイ 4:1)。これは、将来に向けての準備の一つでした。悪魔の欺きと誘惑はイエス様にとって、靈性に欠ける世の中の罪深い頑なな人々の心に、神様からのメッセージを語る準備となりました。ヨハネ 16:33にはこう書いてあります。『わたしはすでに世に勝ちました。』

この箇所から読み取れる準備に関する神様の手段の特徴をあげます。

- (1) 特定の時期に特定の仕事のために遣わされる
- (2) (実際に または靈的に乾いた) 荒野に遣わされる
- (3) 神様の目的を成し遂げるためにメッセージを伝える

イエス様は偉大なる助け主です。私たちの住まいを整えるために十字架に耐えてくださいました。天国にいらっしゃるイエス様はいつでも私たちに助けてくださっています。今日クリスチャンたちは、神の道をこの世の靈的な砂漠の中で主張しています。あなたは誰かを神様に導くために道を整えていますか？

讃美歌 316

祈り 神様。あなたに繋がる道を用意してくださったことを感謝します。他の人々をキリスト様に導けますように私たちを使って下さい。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジェニース・グリーンリーフ
アラバマ州 ハンツビル

10月18日(木)

キリストの力と権威

聖書朗読 マルコ 3:13~21

それは子が、あなたからいただいたすべての者に、永遠のいのちを与えるため、あなたは、すべての人を支配する権威を子にお与えになったからです。ヨハネ 17:2

イエスを捕らえるために遣わされたローマの下役は、こう言いました。『これまであの人のように話した人はいませんでした。』(ヨハネ7:46)。この人はイエスの仰った言葉からいい影響を受けたと考えられます。

イエスは普通の人間とは違いました。人間として地上で生きておられる神様で、お話しになる言葉には力がありました。その力は、表に出ない力ではなく、疑う余地のない絶対的な力です。イエス様はご自分から出る言葉が、空しく帰ってくることはないをご存知でした(イザヤ 5:11)。

この「力」のことを考えながら今日の聖句を読んでみてください。マルコは、イエス様が『ご自分が望む者たちを呼び寄せられると彼らはみもとにきました』と書いています。そして『任命し・・・彼らをご自分のそばに置くため、また彼らを遣わして宣教をさせ』ました。イエス様はお呼びになり任命なさいました。この召しと任命には力がありました。表に出ない力ではなく、疑う余地のない絶対的な力でした。

あなたは、イエス様に呼ばれましたか。主のみもとに行きましたか。イエス様と一緒にいることが喜びとなっていますか。イエス様に仕えていますか。あなたの答えが全て「はい」であるならば、喜ばしいことです。あなたは父なる神の力と権威によりキリストに与えられています(ヨハネ 6:37)。イエス様ありがとうございます！神の力と権威によって、あなたには永遠の命が与えられたのです(ヨハネ6:39~40)。

讃美歌 162

祈り 父なる神様。この世での力と権威を自慢に思う私をお許してください。キリスト様をくださいましてありがとうございます。あなたの力の計り知れない恵みを知り得ることが出来ますように、私の心を導いてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

チャック・ブライアン
テキサス州 ラボック

10月19日(金)

イエス様の憐れみ

聖書朗読 マルコ8:1~13

主は慈愛に富み、あわれみに満ちておられる方だということです。ヤコブ 5:11

これまでの人生で印象に残っている憐れみ深い人が誰かいますか。小学一年生の時の担任の先生でしょうか。近しい友人でしょうか。泣いている迷子を放っておけない人やホームレスを見過すことができない人がいます。イエス様もそうでした！マタイ 9:36にはこう書いてあります。『また、群衆を見て深くあわれまれた。彼らが羊飼いのいない羊の群れのように、弱り果てて倒れていたからである。』

4000人ほどの人たちが何も食わずに3日間もイエス様の後について行きました。遠路はるばるやってきた人も多くいましたので、空腹のまま帰らせては途中で倒れてしまう人が出るのをイエス様はご存知でした。イエス様は「かわいそうに」と仰いました。それが食事を与えた理由でしょうか。イエス様ご自身がかつて40日何も食べなかった経験をなさいましたので、空腹の苦しみをご存知でした。何も食べなくても一緒にいたくなるような特別な何かイエス様にはあったのです。

イエス様は私たちを救うために、苦しまれ死んでくださるほどに憐れんでくださいました。私たちは、今日その憐れみに、ただ感謝することしかできません！

讃美歌 526

祈り 親愛なるお父様。いろいろな方法で憐れみを示して下さり感謝します。どうか私たちも他の人を憐れむ事が出来ますように助けてください。特に世の中で迷っている人たちを憐れむことが出来ますように。

イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

H・グレン・ボイド
アーカンソー州 サーシー

10月20日 (土)

不可能でしょうか？

聖書朗読 マルコ 10 :7~31

弟子たちの心を強め、信仰にしっかりとどまるように勧め、「私たちが神の国に入るには、多くの苦しみを経なければならない」と言った。 使徒の働き 14:22

「人生において簡単に手に入るものはない」というような格言を聞いた事があるでしょう。これはイエス様の言わんとすることでもあります。私たちが生きている事実と福音を聞いた事実は、神様が私たちに神の国に入って欲しいとおっしゃることを証明しています。神様は不可能なことを私たちに強いるような冷酷な方ではありません。

私たちは、神の国の市民になり、あらゆる恩恵を受けることを望みます。しかし、困難や苦しむ事なしに、私たちが受けるに値しない祝福と贈り物をいただくと思っ
てはいませんか。それでは、イエス様が仰ったことを聞き逃し、新約聖書の著者たちが強調した事を見失ってしまいます。

しかしながら、嬉しいことに困難に正しく立ち向かう事で、その時には不可能に見えても、神様の祝福と助けのおかげで可能なものに変わっていくのです。『それは人にはできないことですが、神にはどんなこともできます。』(マタイ 19:26)。これを忘れないようにしたいものです。

神様を受け入れて信頼しなければならないというのは、重大な真実です。自分だけの力で神様が私にして欲しい事をしようとしても無理なのです。自分一人でやらなくていい事を喜ぼうではありませんか！ 神様は共にいてくださり、いつでもどんな時でも助けてくださって、私たちの必要を与えてくださいます。

讃美歌 286

祈り お父様。キリスト様からいただいた救いと永遠の命をありがとうございます。困難な時に助けてくださり、ありがとうございます。

イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

キース・S・ホッジス

ハンツヴィル アラバマ州

10月21日(日)

市場なのか、宮なのか？

聖書朗読 マルコ 11 : 15~19

それから、彼らはエルサレムに着いた。イエスは宮に入り、宮の中で売り買いしている人々を追い出し始め、両替人の台や、鳩を売る者たちの腰掛けを倒し、また宮を通り抜けて器具を運ぶことを誰にもお許しにならなかった。そして、彼らに教えて言われた。『わたしの家は、すべての民の祈りの家と呼ばれる』と書いてあるではありませんか。それなのに、あなたがたはそれを強盗の巣にしたのです。』

マルコ 11 : 15~17

宣教師として韓国に到着した数日後に、ソウルの南大門市場に食糧を買いに出かけました。しかし、そこで嫌な経験をしました。市場は混み合い、泥道は終わりのない迷路のようでした。堪え難い臭いも充満していました。非常に騒がしく、耳に入ってくる韓国語は刺々しく聞こえました。見たこともない野菜が売られ、買い物の際に交渉が必要でした。異国にいるとは理解していたものの、思い描いていたものと全く違っていました。

イエス様が宮にお入りになられた時も、そうだったかもしれません。南大門市場は、その名の通りの市場であったことが大きく違います。その後、そこは私のお気に入りの場所になりました。小さい3人の娘たちが大好きなショッピングモール(南大門市場)でクリスマスの買い物をするのを、目を細めて見ていたものです。

イエス様が宮(イエスさまの家そして父なる神様の家)に入られた時、ありえない様子を目にしました。あらゆる民の祈りの家ではなく、強盗の巣になっていたのです。イエス様は、宮を清め、本来の目的の場所(祈りの家)に戻されました。

私たちの体は、聖霊の宮であると聖書に書いてあります。その宮を正しく扱い、自分の体を用いて神様を崇めましょう。

讃美歌 58

祈り 主よ。私たちの体を生きた供え物として、そしてあなた様の霊の宮として神様にお捧げいたします。アーメン。

ジョイス・ハーディン

テキサス州 オースティン